

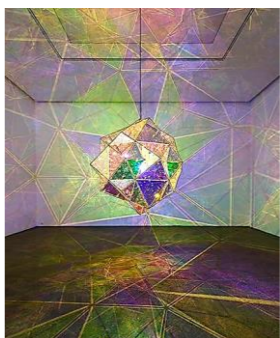


4年2組 名前

みんなで美術館へ行こう

新型コロナウイルスの影響で、長く休館中だった美術館が、展覧会を再開しました。家族で楽しめそうな展覧会を紹介しします。

「オラファアー・エリアソン 時に川は橋となる」東京都現代美術館（清澄白河）では光を中心に自然現象の見え方を、捉え直すことをテーマとした作品が展示されています。作品の中に入り込めるような作品もありますので、小さなお子さんにも楽しめる展覧会です。会期は、九月二十七日（日）までです。



「太陽の中心への探査」

「かおてん。」の顔をさがして楽しむスペー



立川に「PLAY MUSEUM」という美術館ができました。今二つの展覧会が開催されています。はらぺこあおむしで有名な「エリック・カール遊ぶための本」（三月二十八日（日）まで）と、パンダ銭湯などで有名な「Tupera Tupera かおのかおてん。」（十二月二十九日（火）まで）が開催されています。こちらにも、体験しながら楽しめる展覧会です。府中からも近いので、ぜひご覧ください。

府中市立
府中第七小学校
図画工作科
令和2年
7月20日発行
伊藤 志帆

個人情報保護のため児童の名前と顔を隠しています。ご了承ください。

授業の様子

一年生 油粘土が大好きな一年生



です。人のつくり方を覚えて、いろいろな場面を表現しました。自分の飼

いた動物と散歩している場面を表現したり、自分の習い事をしていく様子を表現したりしました。紙皿を半分に分った形から思いついたものをつくりました。スイカをイメージする子が多く、完成したものを口元にあてて楽しんでいました。



三年生 「6月のわたしの絵」が完成しました。「しぜんの色」で学んだ色作りと、「絵の具十ふで」がいい感じ」で学んだ筆使いを生かして自分の考えた6月のテーマをもとに絵を描きました。激しい



「バツタと雨」
3年2組

雨やあじさいを描いたり個性豊かな作品ができました。「くぎうちくぎちゃん」では、金づちの使い方をマスターしました。手に乗るサイズのくぎちゃん

は、子供達にはかわいくて仕方ないようで、完成したくぎちゃんでお人形遊びもしていました。



まんがイラストクラブ

クラブ

まんがイラストクラブの活動が始まりました。四年生は初めてのクラブに、少し緊張気味でした。自己紹介で「うまくなりたくて希望しました。」という子が多くてびっくりしました。その気持ちは、とてもいいことですが、ぜひそれ以上に楽しんでほしいと思います。クラブは他の学年の人と交流できる場なので、普段話さない人の表現を見たり好きな漫画について話したり、楽しい時間を過ごしてほしいです。

図工室の前に作品を展示しています



六年生 「想像のつばさを広げて」では、自分の選んだ名画から想像した世界を描きました。左の絵は、伊藤若冲の「諸魚図」と環



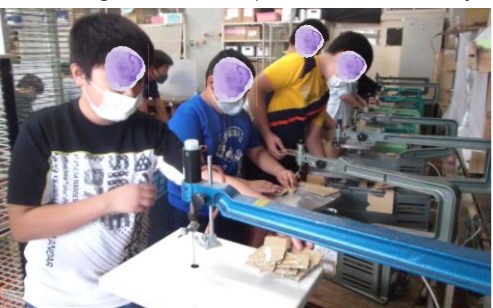
「海洋汚染」6年1組

「諸魚図」伊藤若冲（江戸時代）



魚図」と環境汚染防止を組み合わせて表現しています。他の場で勉強したことを図工で生かして

ていて高学年らしさを感じました。二学期に取り組む題材の準備として、電動糸のこぎりの練習をしました。初めてのなので、木より柔らかい段ボールで練習しました。怖がる子も少なく順調に切ることができて、安心しました。



五年生 去年



アルミ線を使う入門編として、簡単なステンドグラスをつくりました。今年は立体的な形に挑戦しています。タワヤ木、建物などをつくっています。線でできている物を立体的に表すには、なかなか頭を使いますが、よく考えて取り組んでいます。直線的な作品をつくらせている子もいる子がいましたが、最後まであきらめずに、とても粘り強く取り組んでいます。感心させられます。



四年生 「おもしろアイデアボックス」

4年1組



器用に引き出しをつくり、本当に使えるような作品がたくさんできました。右の作品のように、色画用紙をたくさんはり、かわいく仕上げた子もいます。

「光と影から生まれる形」では、工作用紙で三角柱をつくり、カッターで穴を開けてできる光の形の面白さを楽しみました。お花紙をはると、光の色が変わり、「幻想的」とはしゃぐ姿も見られました。



自分のイメージに合わせて穴の形や、色選びをよく考えていました。カラフルにしても、二色だけに限定しても、とてもきれいでした。